



IXIL ガレージシャッタークワトロ(外部付 木造用壁(後)付枠) 取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。 ※内は、ロットNo.表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

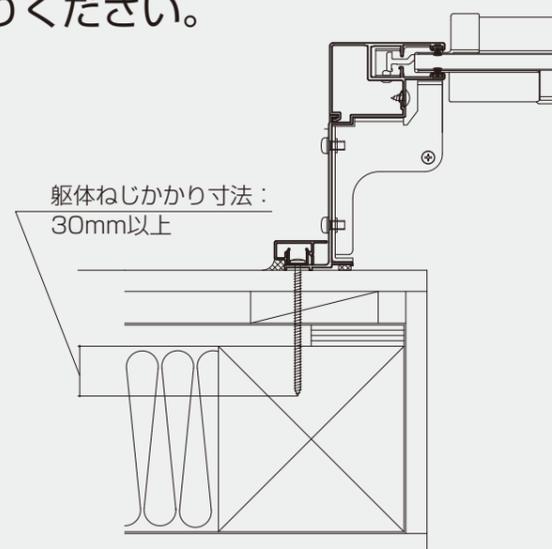
▲警告 …取付けを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲警告

●シャッター本体の外れ・落下の原因になりますので、下記事項をお守りください。

- ・本製品は木造用です。木造以外のALC造、RC造、鉄骨造などの躯体に使用しないでください。
- ・取付け前に必ず、柱・間柱の位置・寸法、外壁材・下地材の厚さを建築図面で確認してください。
図面のない場合は壁をはがすなどの方法により柱の有無を確認して取付けてください。
- ・躯体へのねじかかり寸法は30mm以上確保してください。
- ・ねじは必ず、躯体に2.4N・m {24kgf・cm}以上のトルクで締付けてください。
- ・製品の強度確保のため、必ず指定のねじを指定の本数で取付けてください。

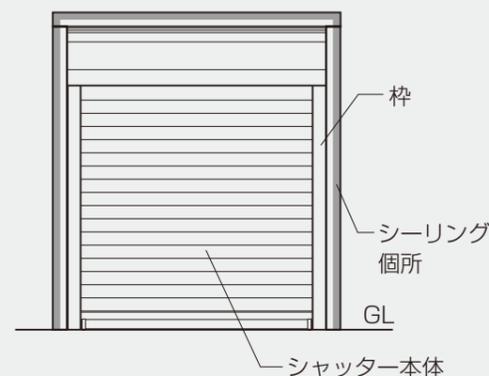


▲注意

●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。

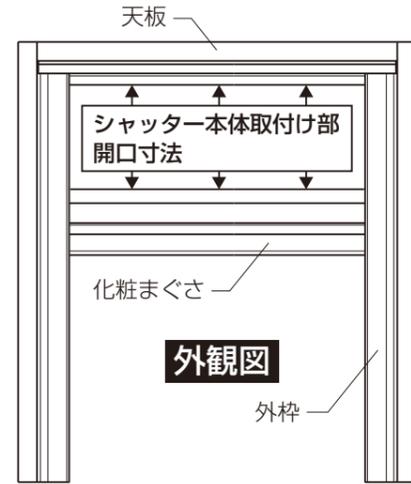
- ・躯体へのねじ固定は外壁にφ3.5のドリルで下穴をあけて、必ず下穴にコーキング材を充てんしてからねじ止めしてください。
- ・指定の個所には必ずシーリングをしてください。使用するコーキング材の指示にしたがい必ず下地処理を行なってください。
- ・外枠に張付けてあるコーキングシーラーが天板・化粧まぐさの周りにはみ出すように合わせてから、すき間なくつぶれるようにねじ止めしてください。
- ・外枠と天板・化粧まぐさのねじ止めは、 $2.5 \pm 0.5 \text{N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{kgf} \cdot \text{cm}$ }のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

〈シーリング必要位置〉



■取付け上のお願い

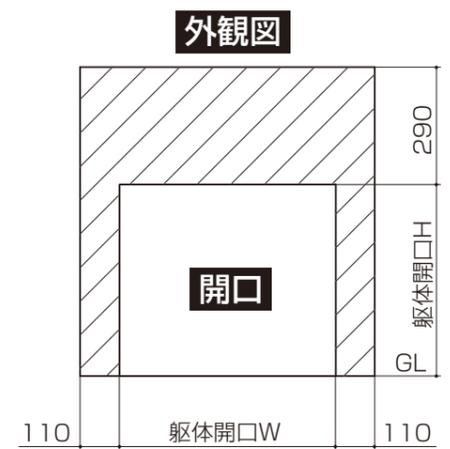
- 天板・化粧まぐさは水平に取付け、シャッター本体取付け部の開口の寸法がどこを測定しても等しくなるようにしてください。(右図参照)
シャッター本体が取付けられなくなり、製品の取付けや外装工事などをやり直すおそれがあります。
- 枠の水平・垂直を正確に出してください。シャッター作動不良の原因になり、製品の取付けや外装工事などがやり直すおそれがあります。
- シャッター部分の組立て・取付けについては、シャッター本体同梱の取付け説明書をご覧ください。



■躯体・外壁材・開口部の確認

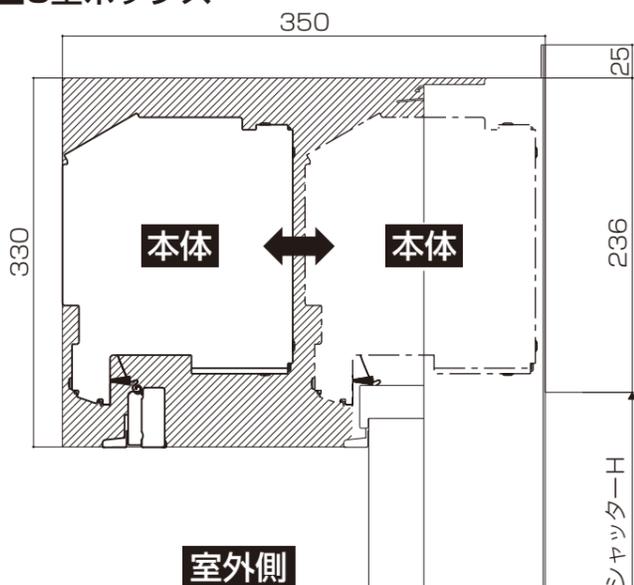
- シャッターを取付ける前に下記の内容を確認してください。
 - 1. ガレージシャッターを取付けるスペースがありますか。本製品を取付けるためには右図(シャッター取付け範囲)斜線部のスペースが必要です。
 - 2. 外壁厚みは45mm未満になっていますか。45mm以上ある場合は取付けねじを躯体に十分効かせることができないため、取付けできません。
 - 3. 外壁の種類は空業サイディングもしくはモルタル壁ですか。その他の外壁には取付けできません。(金属サイディングの場合はオプションの三方下地部材をあらかじめ取付けることで、対応可能となります。)
 - 4. ガレージシャッター固定ねじの位置に躯体はありますか。躯体がない場合は取付けできません。外壁部分だけで固定することは絶対行わないでください。
 - 5. ガレージシャッター出幅方向で何かに当たりませんか。シャッターボックスの出寸法はボックス別に下図に示します。シャッター本体の施工およびメンテナンスのため、下図のスペースを確保してください。
 - 6. ガレージシャッター取付け面は同一面になっていますか。同一面になっていない場合は取付けできません。
 - 7. ガレージシャッター取付け面に突起物はありませんか。突起物がある場合は取付けできません。
 - 8. ガレージシャッターの取付け面に著しい不陸はありませんか。著しい不陸がある場合は取付けできません。
- ※詳しくは「取付けチェックポイント集」をご覧ください。

■シャッター取付け範囲

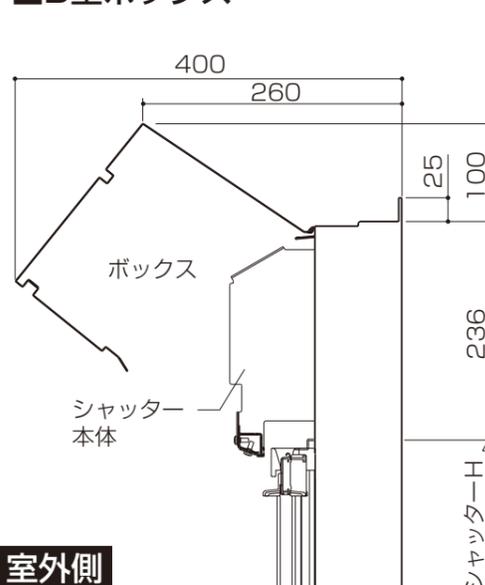


- シャッター本体の施工およびメンテナンスのため、下図のスペースをあけてください。

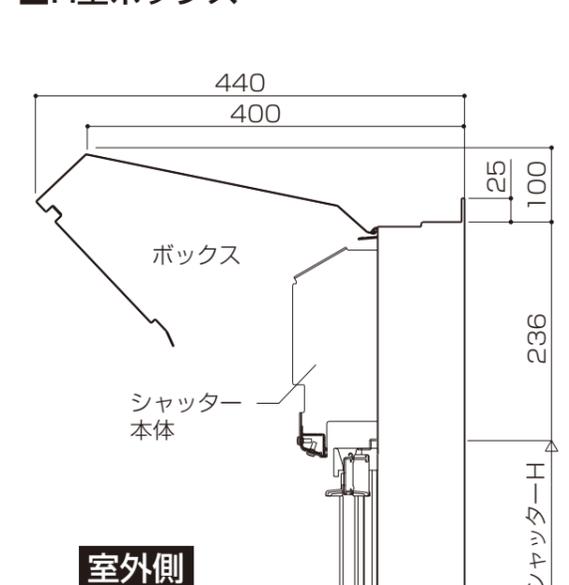
■S型ボックス



■D型ボックス



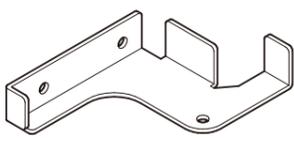
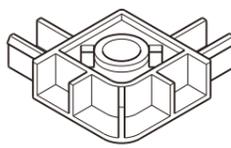
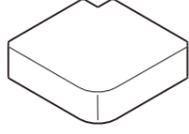
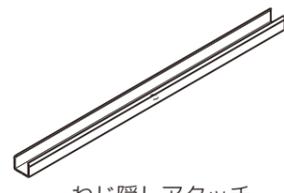
■H型ボックス



■取付け完了時の確認

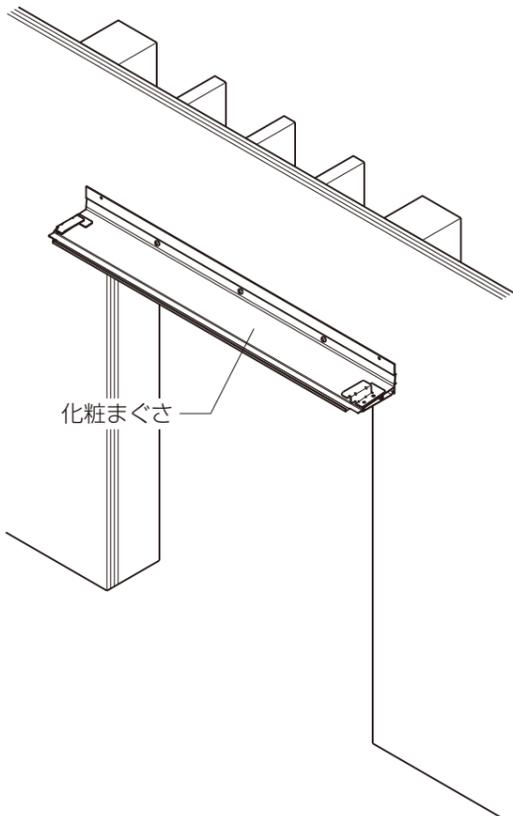
- 取付け後、ねじのゆるみやガタツキ、その他使用上危険な箇所がないか、点検してください。

■使用部品・ねじ一覧表

①	㊦	㊨	㊩	㊰
				
バインドコースレット ねじφ4.2×75	コンクリートアンカーねじ φ4×32	コンクリートアンカーねじ (色付)φ4×32	ナベテクスねじ φ4×19	外枠補強材
㊱	㊴	㊵	㊶	㊷
				
ナベ小ねじ(ワッシャー付) M5×10	ねじ隠しコーナー ピース(本体)	ねじ隠しコーナー ピース(カバー)	ねじ隠しアタッチ 受けピース	バインドタッピンねじ φ4×30

■取付け順序

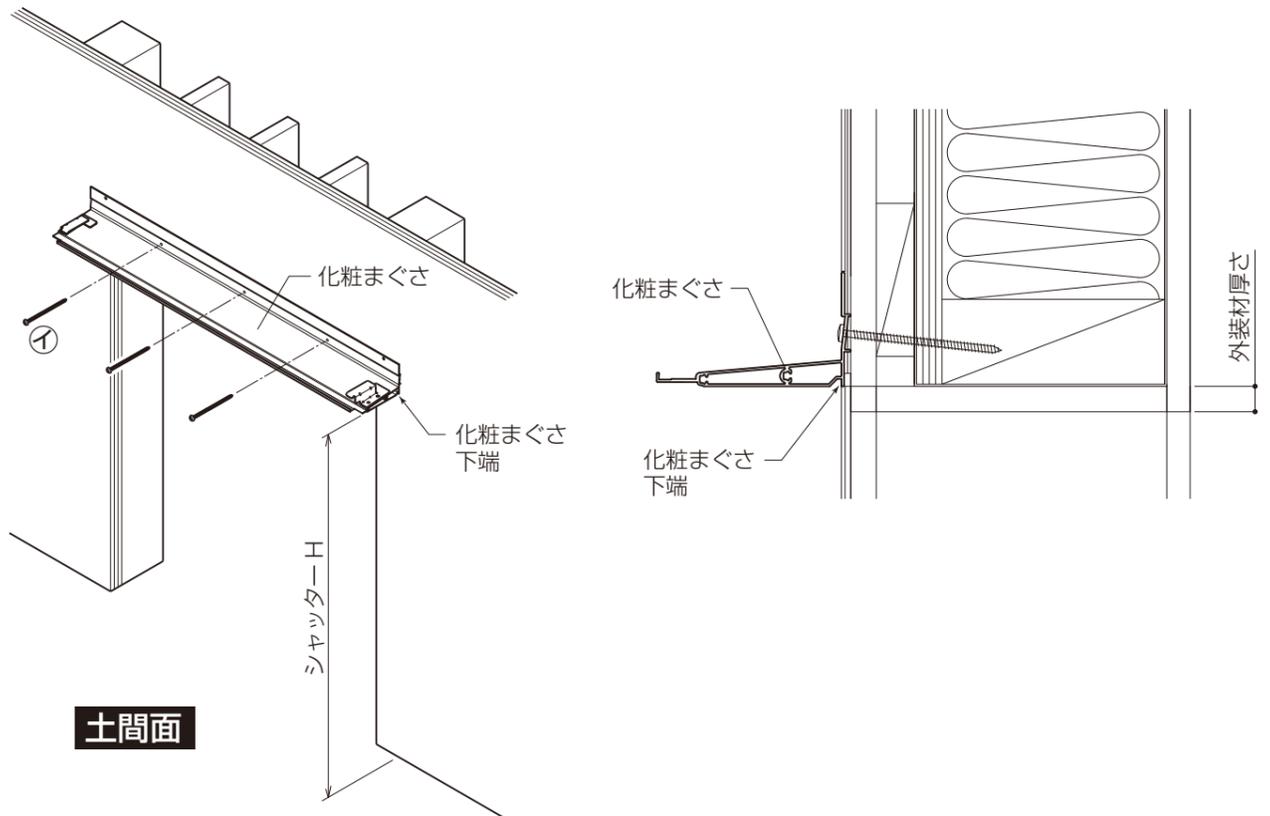
1化粧まぐさの取付け



■取付け詳細

1化粧まぐさの取付け

- ①化粧まぐさの下端を土間面からシャッター Hの位置に合わせ、躯体からの左右の出寸法を均等にし、化粧まぐさの水平を確認して取付け穴の下穴をけがきます。
- ②けがきに合わせて壁面にφ3.5のドリルで下穴をあけコーキング材を充てんしてください。
- ③化粧まぐさを躯体に①バインドコースレットねじφ4.2×75で取付けます。

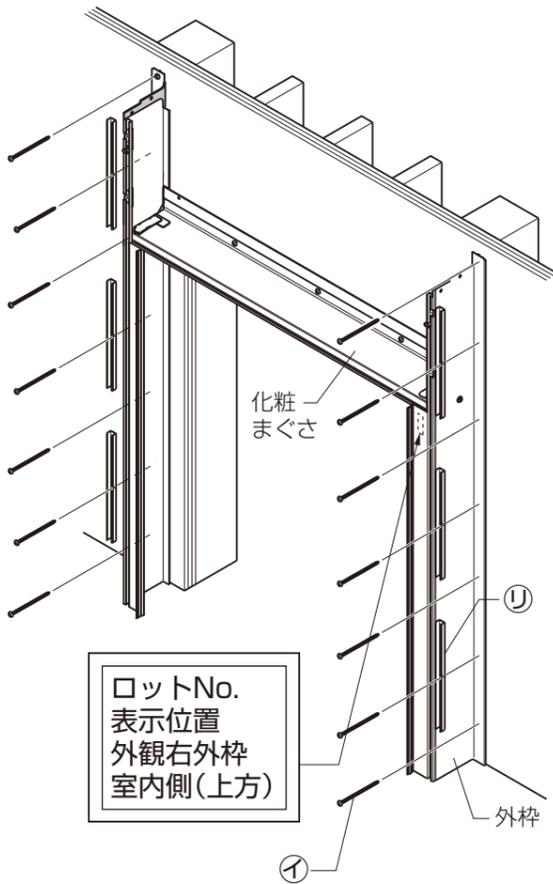


- ※柱、間柱などの位置に合わない場合は下穴をあけ直して、取付けてください。
- ※下地部材を使用する場合は、下地部材梱包に同梱のナベテクスねじで固定してください。(ただしその際、下穴加工は必要ありません。)バインドコースレットねじは下地部材の固定に使用します。

▲注意

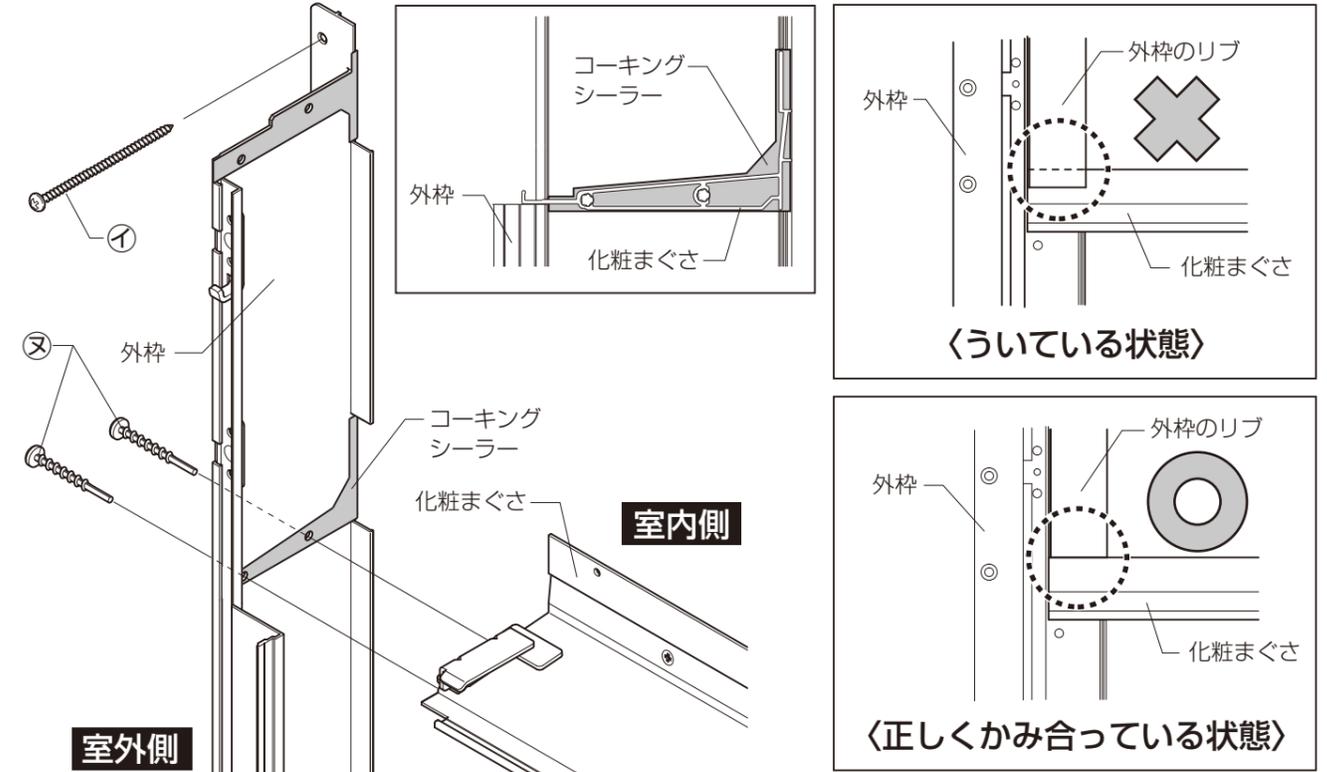
- 躯体へのねじ固定は必ず下穴にコーキング材を充てんした後に行なってください。漏水の原因になるおそれがあります。

2 外枠の取付け



2 外枠の取付け

- ① どちらか一方の外枠と化粧まぐさを㊸バインドタッピンねじφ4×30で固定します。
※躯体側がうかないよう、外枠のリブと化粧まぐさをかみ合わせてください。
- ② 外枠の垂直を出し、壁面と直角になるように㊹バインドコースレッドねじφ4.2×75で固定します。ねじ固定は必ず下穴をけがいて、φ3.5で下穴をあけ、コーキング材を充てんしてから行ってください。ねじの固定の際、指定の個所に㊺ねじ隠しアタッチ受けピースも共締めしてください。枠の固定は下げ振りなどで垂直を確認し、壁面と直角になるようかい物などで調整してください。
- ③ もう一方の外枠は、仮止めしておきます。
固定部が基礎にあたる部分はφ3.4で下穴(深さ35～40mm)をあけ㊻コンクリートアンカーねじ(色付)φ4×32で固定してください。
※下地部材を使用する場合は、下地部材梱包に同梱のナベテクスねじで固定してください。バインドコースレッドねじは下地部材の固定に使用します。



▲ 注意

- 外枠に張付けてあるコーキングシーラーが天板・化粧まぐさの周りにはみ出すように合わせてから、すき間なくつぶれるようにねじ止めしてください。漏水の原因になるおそれがあります。
- ねじは、 $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。漏水の原因になるおそれがあります。

■ ねじ隠しアタッチ受けピース取付け位置

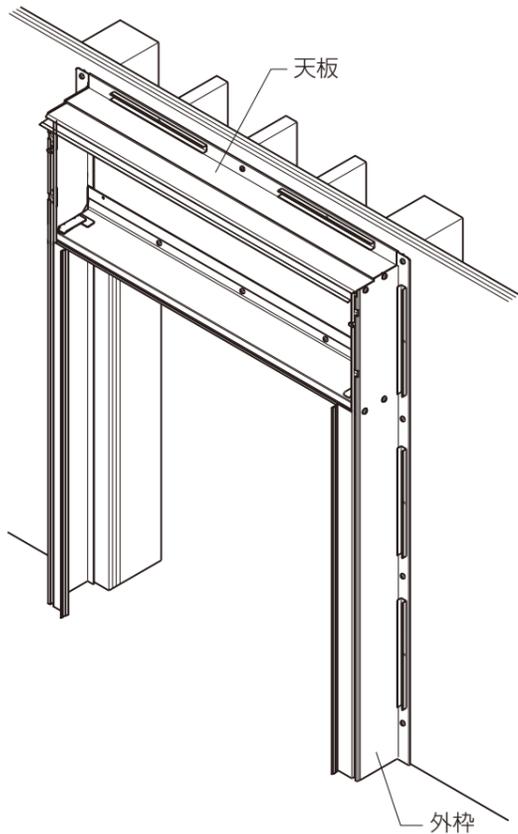
● 天板

W ≤ 927		● ねじ隠しアタッチ受けピース取付け位置 ○ ねじのみ
927 < W ≤ 1382		
1382 < W ≤ 1837		
1837 < W ≤ 2327		
2327 < W ≤ 2827		
2827 < W		

● 外枠

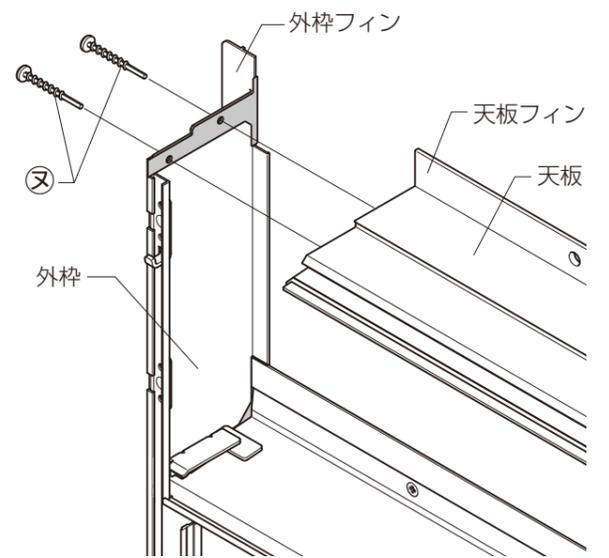
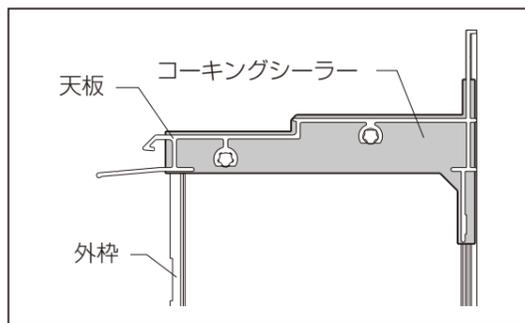
H ≤ 1240	1240 < H ≤ 1690	1690 < H ≤ 2140	2140 < H

3 天板の取付け



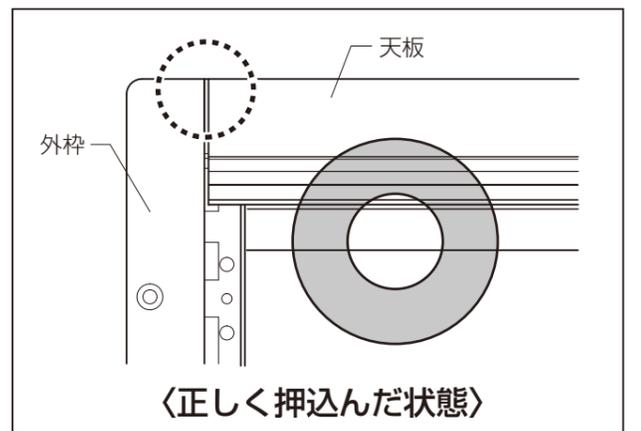
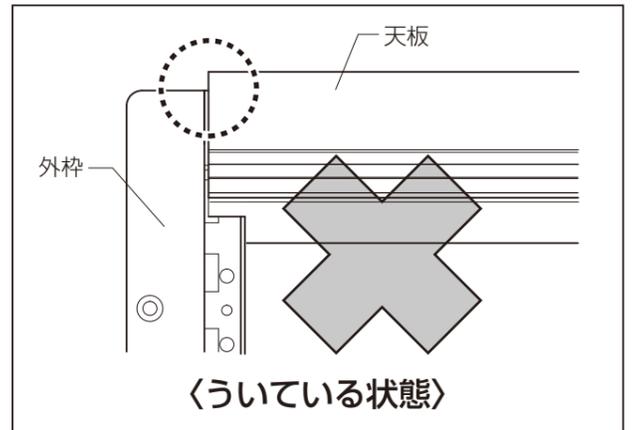
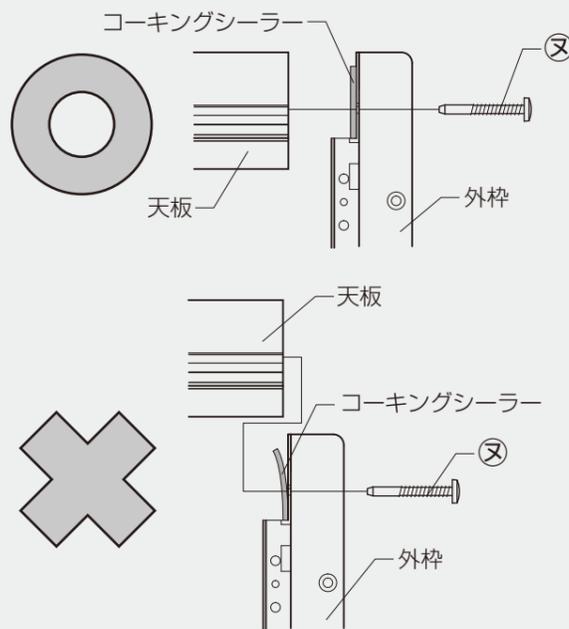
3 天板の取付け

- ①左右の外枠と天板を②バインドタッピンねじφ4×30で固定します。
※躯体側がうかないよう、外枠と天板のフィンの高さを合わせてください。
- ②仮止めしてある外枠と化粧まぐさを固定します。



▲ 注意

- 天板に外枠を横方向から重ね合わせてください。外枠に天板を上から差込むとコーキングシーラーがめくれ、漏水の原因になるおそれがあります。



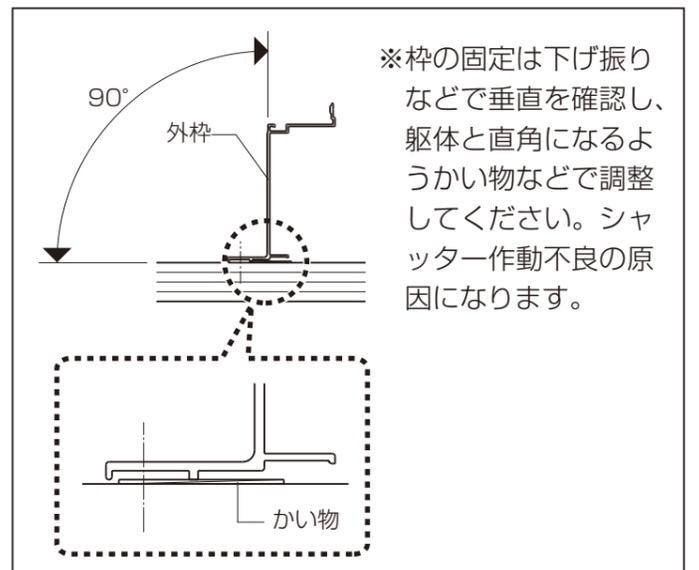
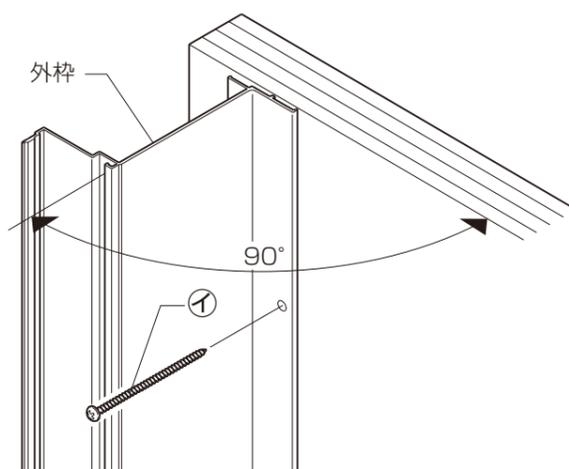
4 外枠・化粧まぐさ・天板の取付け

4 外枠・化粧まぐさ・天板の取付け

- ①固定していない外枠、化粧まぐさ、天板を①バインドコースレッドねじφ4.2×75で躯体と直角になるように固定します。ねじの固定は必ず下穴をけがき、φ3.5で下穴をあけコーキング材を充てんしてから行ってください。ねじの固定の際、指定の個所に①ねじ隠しアタッチ受けピースも共締めしてください。
※柱、間柱などの位置に合わない場合は下穴をあけ直して、取付けてください。
※上・中・下部の開口寸法の誤差が±3mm以内であることを確認して調整してください。シャッター作動不良の原因になります。
※外枠と化粧まぐさはすき間なく固定してください。シャッター本体が取付けられなくなります。
※固定部が基礎にあたる部分は、φ3.4で下穴(深さ35~40mm)をあけ、①コンクリートアンカーねじ(色付)φ4×32で固定してください。
※下地部材を使用する場合は、下地部材梱包に同梱のナベテクスねじで固定してください。バインドコースレッドねじは下地部材の固定に使用します。
- ②取付け後、ねじのゆるみやガタツキ、その他使用上危険な個所がないか点検してください。

▲ 警告

- 取付けねじは、必ず躯体に取付けてください。シャッター本体が外れ、落下の原因になります。



【入隅の場合】

● 枠の取付け

① 外枠と化粧まぐさ、天板を② バインドタッピンねじφ4×30でねじ止めします。

② 外枠の下端を土間面に合わせ、躯体からの化粧まぐさの左右の出寸法を均等にし、化粧まぐさの水平を確認して躯体に④ バインドコースレットねじφ4.2×75でねじ止めします。

③ 外枠の垂直を出し、躯体と直角になるように④ バインドコースレットねじφ4.2×75でねじ止めします。

④ 固定していない外枠、化粧まぐさ、天板を④ バインドコースレットねじφ4.2×75でねじ止めします。

※ねじの固定は必ず下穴をけがき、φ3.5で下穴をあけコーキング材を充てんしてから行ってください。ねじの固定の際、指定の個所に①ねじ隠しアタッチ受けピースも共締めしてください。

※柱、間柱などの位置に合わない場合は下穴をあけ直して、取付けてください。

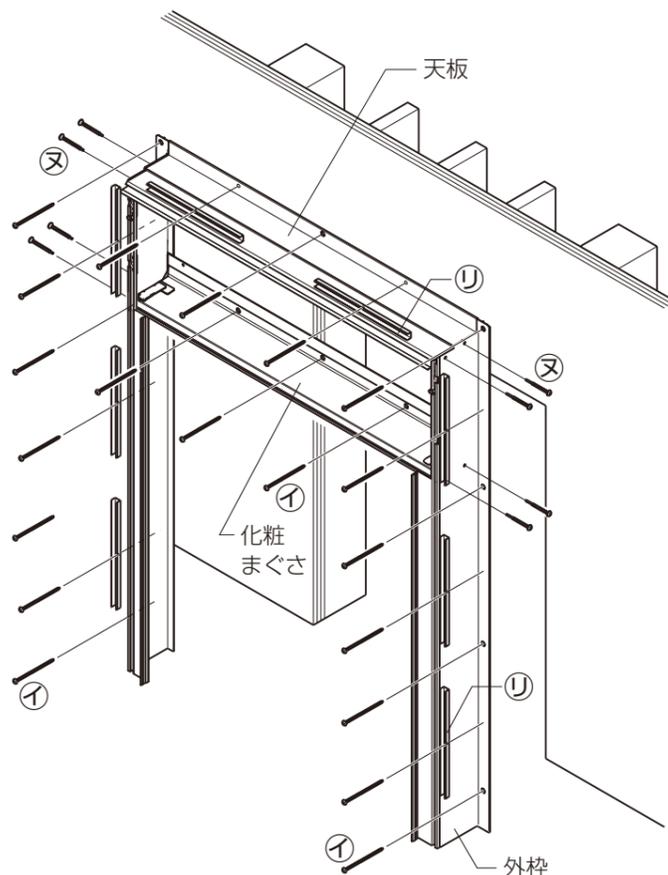
※上・中・下部の開口寸法の誤差が±3mm以内であることを確認して調整してください。シャッター作動不良の原因になります。

※外枠と化粧まぐさはすき間なく固定してください。シャッター本体が取付けられなくなります。

※固定部が基礎にあたる部分は、φ3.4で下穴(深さ35～40mm)をあけ、④コンクリートアンカーねじ(色付)φ4×32で固定してください。

※下地部材を使用する場合は、下地部材梱包に同梱のナベテクスねじで固定してください。バインドコースレットねじは下地部材の固定に使用します。

⑤ 取付け後、ねじのゆるみやガタツキ、その他使用上危険な個所がないか点検してください。



5 外枠補強材の取付け

5 外枠補強材の取付け

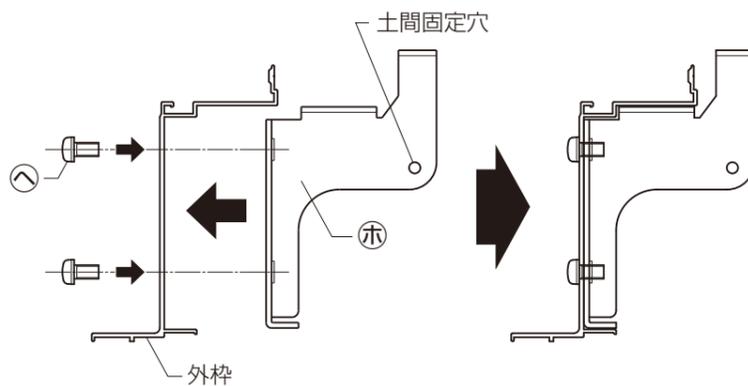
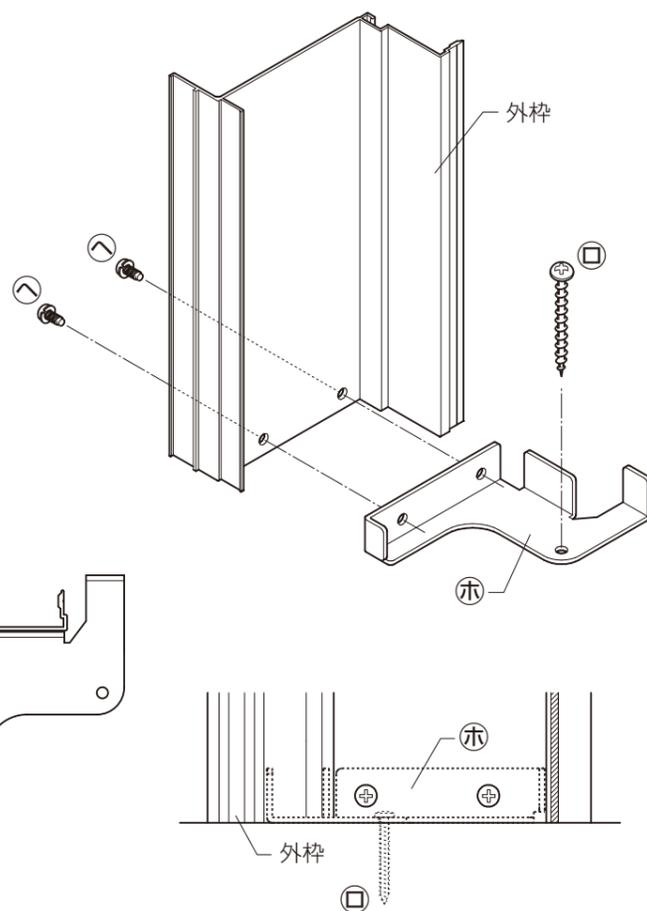
① 外枠補強材を④ ナベ小ねじM5×10で外枠下部に取付けます。

② 外枠補強材の土間固定穴の下穴をけがきます。

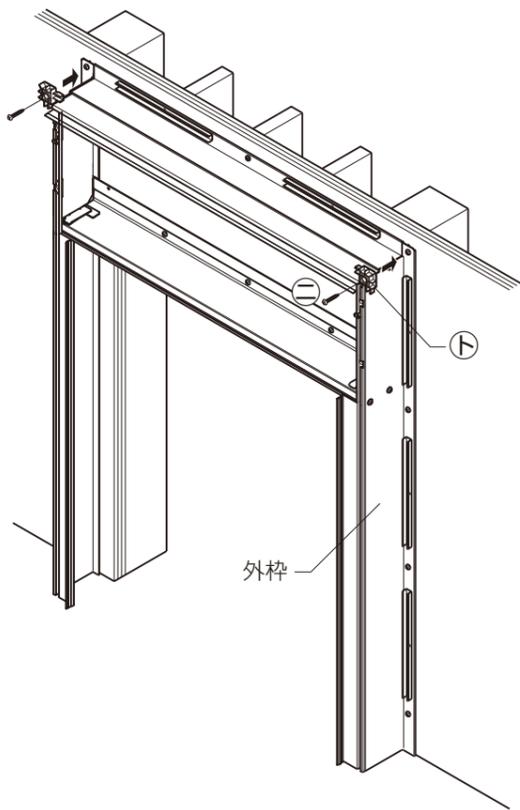
③ 外枠補強材を取外し、コンクリートドリルφ3.4で下穴(深さ35～40mm)をあけます。

④ 外枠補強材を戻し④ ナベ小ねじM5×10で外枠に取付け、⑤ コンクリートアンカーねじφ4×32で土間面に固定します。

※外枠と土間面にすき間がある場合はねじをゆるめ、外枠補強材をアジャストして土間面に合わせてください。すき間がある状態でコンクリートアンカーねじを固定すると外枠補強材が変形します。

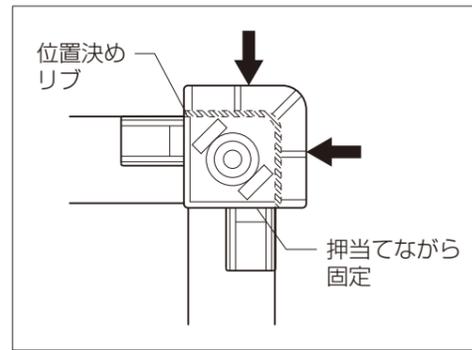
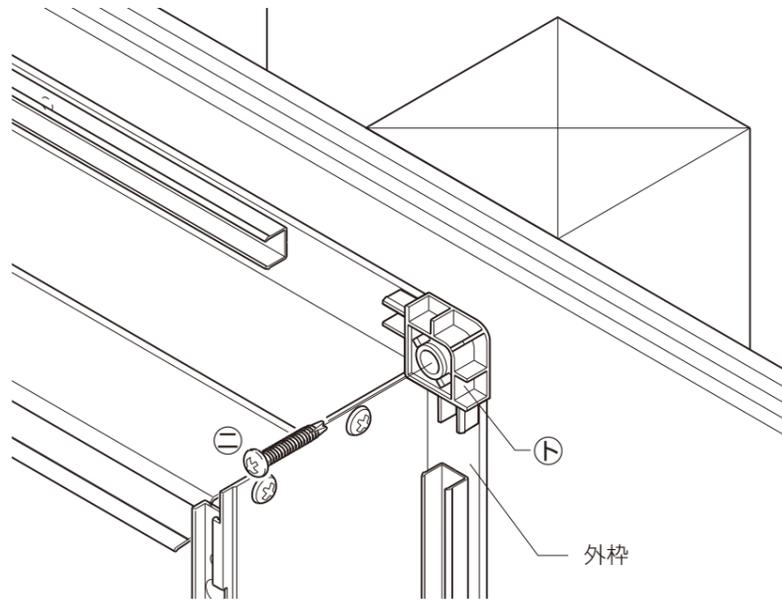


6 ねじ隠しコーナーピースの取付け

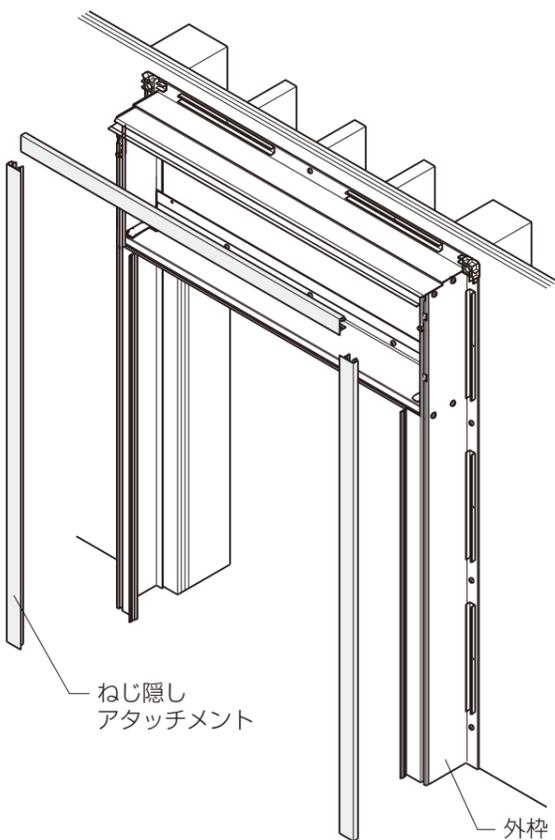


6 ねじ隠しコーナーピースの取付け

- ①ねじ隠しコーナーピース(本体)を外枠の釘打ちフィンに当て、下穴をけがきます。φ3.5で下穴をあけコーキング材を充てんしてから②ナベテクスねじφ4×19で取付けます。(2隅)
(その際、位置決めリブがフィンに必ず当たるように固定してください。)
- ※ 下地部材を使用する場合はナベテクスねじで下穴をあけずに取付けてください。

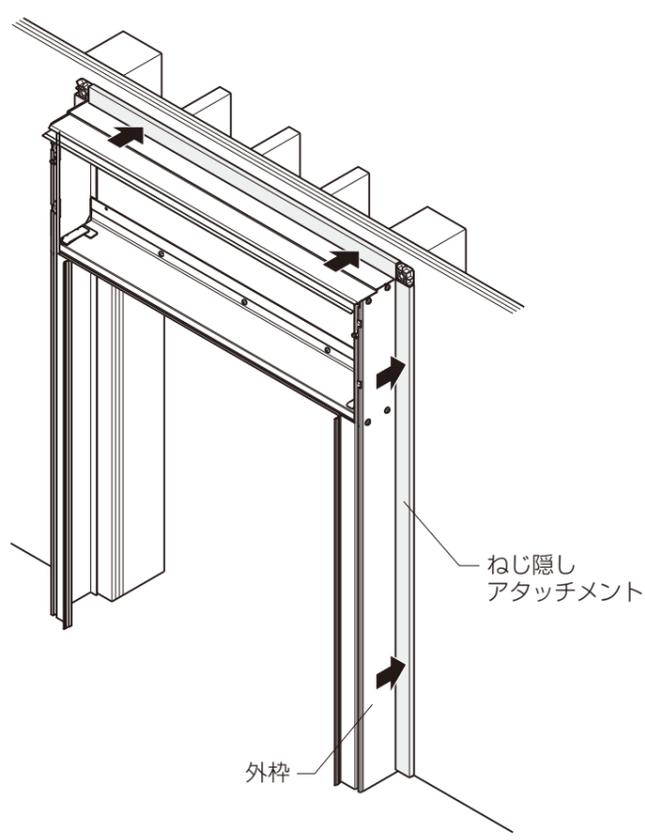
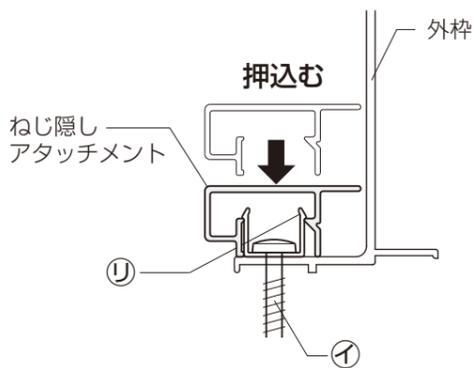


7 ねじ隠しアタッチメントの取付け

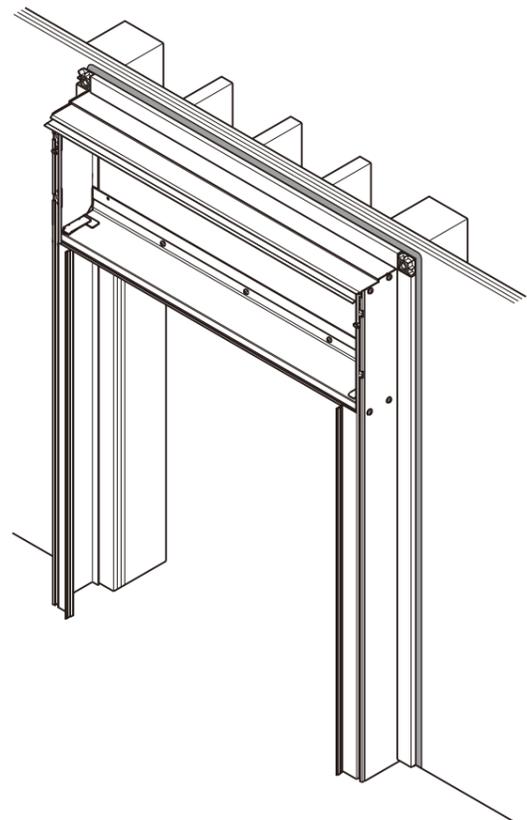


7 ねじ隠しアタッチメントの取付け

- ねじ隠しアタッチメントを①ねじ隠しアタッチ受けピース、②ねじ隠しコーナーピース(本体)にはめ込みます。
- ※ ねじ隠しアタッチメントが必ず①ねじ隠しアタッチ受けピースにはめ込まれたことを確認してください。

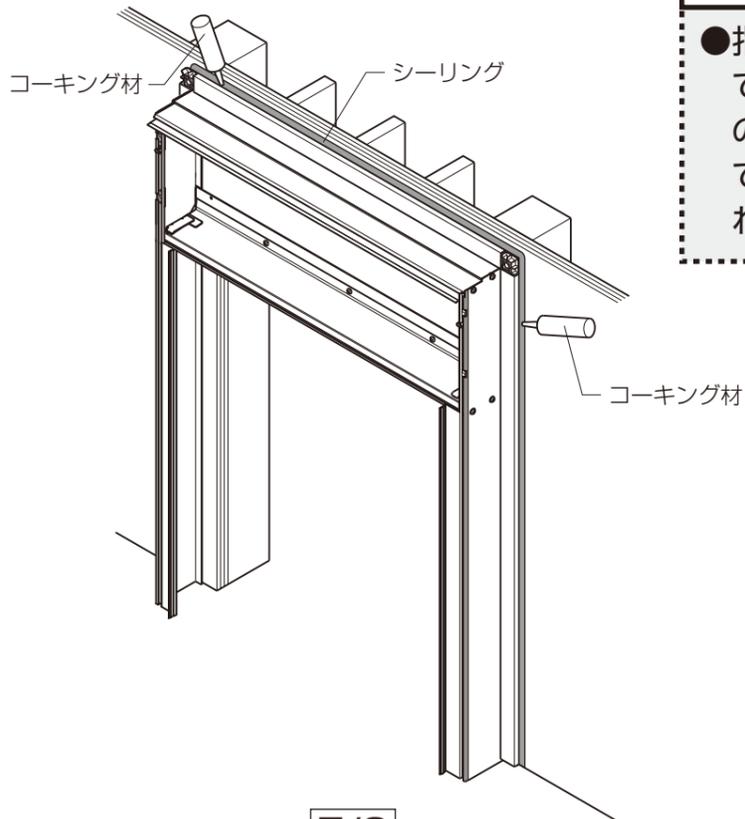


8 枠周りのシーリング処理



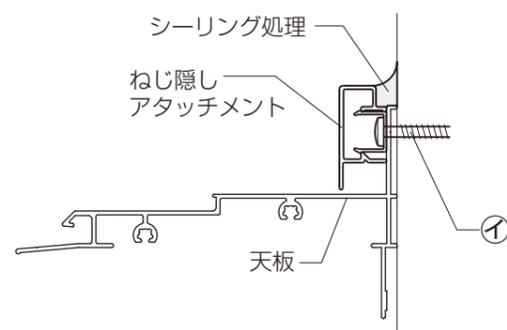
8 枠周りのシーリング処理

- 枠周り(3方)へシーリング処理を行ないます。

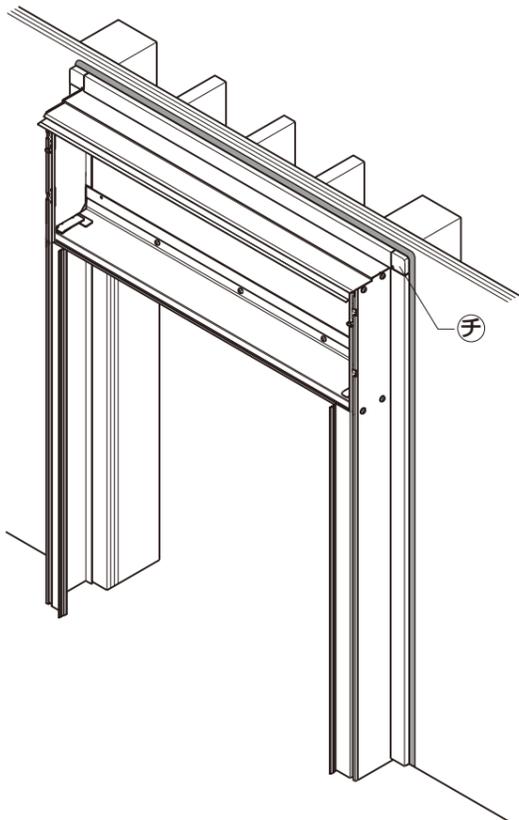


▲ 注意

● 指定の個所には必ずシーリングをしてください。使用するコーキング材の指示にしたがい下地処理を行なってください。漏水の原因になるおそれがあります。

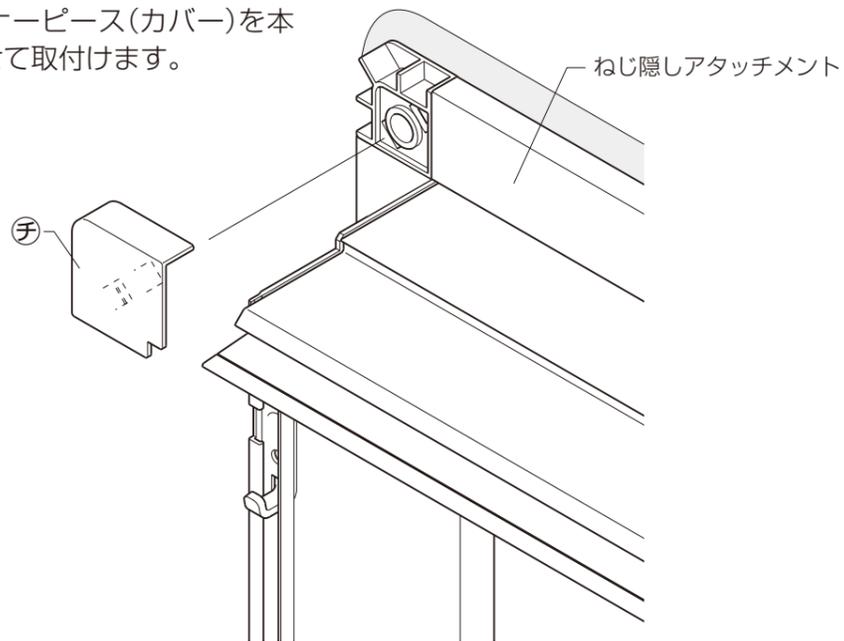


⑨ねじ隠しコーナーピース(カバー)の取付け



⑩ねじ隠しコーナーピース(カバー)の取付け

- ねじ隠しコーナーピース(カバー)を本体の形状に合わせて取付けます。



■施工完了時の確認

- ※取付け後、ねじのゆるみやガタツキ、その他使用上危険な個所がないか、同梱の施工完了確認チェックリストで点検してください。
- ※本製品は、壁付を基本としますので、背板の取付けの必要はありません。本体取付けの際、背板は取付けなくてもよいことを、本体取付けを実施する方に必ず伝えてください。